

発刊のことば

このたび、舞鶴市議会80周年という記念すべき節目を迎え、その記念として「舞鶴市議会の歩み－舞鶴市議会八十年史－」を刊行することとなりました。

この大きな節目の年を市民の皆様と迎えることができましたことを感慨深く、この上ない喜びと思っております。

さて、舞鶴市議会は、昭和18年5月27日に舞鶴市が市制を施行されました同年7月20日に36人の初代議員において初議会が開かれて以降、昭和から平成、令和へと時代が移り変わる中で、市政とともに80年という長い歴史と伝統を刻んでまいりました。

戦後の混乱からの復興、高度経済成長における経済発展期から一転、バブルの崩壊と長引く経済不況など様々な社会情勢の変遷を経て、近年では、台風の襲来や大雨による自然災害への復旧対応、全世界における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会構造の変化等、各般にわたって幾多の困難を乗り越え、本年、記念すべき節目を迎えることができましたのも、舞鶴市の発展にご貢献いただきました舞鶴市議会の諸先輩はもとより、多くの先人の皆様のたゆみないご努力の賜物であると存じ、また、市民の皆様の深いご理解とご協力をいただいておりますことに、改めまして深甚なる敬意と謝意を表すものであります。

現在の日本は、少子高齢化による人口減少に加え、地域社会における市民ニーズの多様化、不安定さを増す世界情勢による地域経済への影響など、社会構造の変化の時代を迎えており、舞鶴市においてもこれまで以上に課題が多様化・複雑化することが予想されますが、そういった変化に対応しながら、「持続可能なまちづくり」を推進する上では、市民の皆様の多様な意見を反映し合意形成を図り、議事機関として市の最善の意思を決定する、我々地方議会が果たす役割は、より一層重要になってくるものと存じます。

70周年以降の10年を振り返ってみますと、最も大きな役割であります議案の審査と意思決定に関わる活動の充実はもちろんのこと、代表・一般質問の場において市民の皆様の切実な声を届けながら活発な提案を行うことなど議会・議員活動の見える化を図るとともに、議会自らが政策を立案し提案することなど、議会の活性化に力を注いでまいりました。

舞鶴市議会といたしましては、引き続き、二元代表制の一翼を担っている機関として、議会・議員の責務を果たし、市民の皆様の信頼と負託に応えるため、日頃より多様な意見を的確に把握し、市民本位の立場で議会・議員活動に取り組むとともに、舞鶴市議会基本条例に掲げております「市民に開かれた議会」「議会機能の充実」「効率的・効果的な議会運営」に向けて邁進することにより、さらなる市民福祉の向上と市勢の発展に尽くしてまいります。

「舞鶴市議会の歩み」はこれまで40年史から10年ごとに発刊し、このたびの「舞鶴市議会の歩み－舞鶴市議会八十年史－」におきましては、70年史に、新たに舞鶴市議会10年の足跡を追録したものであります。

本巻を通して多くの皆様が議会・議員活動に親しんでいただき、政治や身近な市政に関心を持っていただく一助となりますことを祈念し、議会記念史発刊のご挨拶といたします。

令和5年12月20日

舞鶴市議会議長

上羽和幸

発刊を祝して

舞鶴市議会が80周年を迎えられ、このたび「舞鶴市議会の歩み－舞鶴市議会八十年史－」が発刊されますことを、心からお慶び申し上げます。

議員の皆様におかれましては、議会活動を通じ本市の発展と市民の福祉向上のため、多大なご尽力を賜っておりますことに対しまして、誌上をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

今年は、昭和18年5月27日に本市が市制を施行してから80周年という大きな節目の年を迎えております。

この80年、本市は、苛烈を極めた戦争、終戦直後の疲弊と混乱という大変困難な状況から、引揚港として約66万人に及ぶ引揚者を迎え入れ、昭和25年に旧軍港市転換法制定から平和産業港湾都市へと歩みを進め、再生復興を果たしました。

また、幾多の自然災害をはじめ、近年では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、市民生活はかつて経験したことがない危機に見舞われるなど、本市の歩みは、大変険しい道のりでありました。

私たちの先人は、それら多くの試練を懸命に乗り越え、都市基盤の整備や、港を中心とした地域産業の発展、高速道路網をはじめとする交通ネットワークの充実により、市民生活の向上が図られ、今日の平和で豊かな「舞鶴市」が築き上げてこられました。

議事機関である市議会と執行機関は、対等の立場にたってお互いに尊重し、議論しあいながら市民のためにより良い市政の実現を目指してまいりました。今日における本市の発展は、市民の代表である議員の皆様が市政に対するご熱意と献身的な取組があったからこそと思っております。

改めまして、歴代の議長、副議長をはじめ議員の皆様に対し衷心より敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

現在、少子高齢化と人口減少が急速に進展し、また、不安定化する世界情勢が産業や市民生活にも大きな影響を及ぼすなど、本市を取り巻く環境は複雑化しており、私たちの目の前には大きな課題がいくつも立ちまわっています。

このような中、これまで以上に市議会・市民・行政が一丸となって、時代の変化を的確に捉えた魅力的なまちづくりにより、「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴」の実現に向けて全力を挙げて取り組んでいかなくてはならないと考えております。

議員の皆様におかれましては、今後も本市のさらなる発展のため、格別のご尽力、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、舞鶴市議会の今後ますますのご発展をお祈りいたしますとともに、市議会議員の皆様のごさらなるご活躍、ご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年12月20日

舞鶴市長 鴨田秋津

例 言

1. 本書は、市制施行80周年にあたり既に発刊されている「舞鶴市議会四十年の歩み」「舞鶴市議会五十年の歩み」「舞鶴市議会の歩み－舞鶴市議会六十年史－」及び「舞鶴市議会の歩み－舞鶴市議会七十年史－」を引継ぎ、補完するものとして平成25年5月以降の10年間を中心に議会活動の主な事項を会議録、各会議の記録等から取り上げてまとめたものである。
2. 原資料の表記は努めて原文のままとし、縦書きのものについては横書きとして整理、数字はアラビア数字に改めた。また用字、用語については、原則として常用漢字と現代仮名遣いを用い、明白な誤字は訂正した。
3. 「40年史」「50年史」「60年史」「70年史」の議会年表は、そのまま掲載した。

目 次

発刊のことば	舞鶴市議会議長	上 羽 和 幸
発刊を祝して	舞 鶴 市 長	鴨 田 秋 津
例 言		

1. 舞鶴市議会の沿革	1
2. 議会年表	9
3. 市議会議員名簿	171
4. 歴代議長・副議長名簿	177
5. 歴代市長・副市長・助役・収入役名簿	185
6. 議会選出監査委員・農業委員名簿	193
7. 議員役職年表	205
8. 議会議決年表	231
9. 舞鶴市議会の委員会	273
10. 議員報酬の推移	277
11. 議案処理状況	281
12. 選挙結果	289
13. 会派の変遷	299
14. 議員表彰	321
15. 特別委員会・協議又は調整を行うための場の設置状況	335
16. 意見書・決議	341
17. 請願書	415
18. 議会開催状況	421
19. 議会事務局	425